

かとう国保だより

“平成29年度から人間ドックの受診費用を助成しています”

国民健康保険（国保）は、加入者のみなさま（被保険者）が病気やけがをされたときに、安心して医療を受けられるように、国民健康保険税（国保税）を出し合い、みんなで支えあう制度です。今年度から新たに人間ドックの受診費用を助成しています。

平成29年度は国保税率を据置き、所得に応じた5割、2割軽減の対象を拡大します。

※税率等は平成28年度と同じです。

平成29年度の国保税率表		医療給付費分 全加入者対象	後期高齢者支援金等分 全加入者対象	介護納付金分 40歳以上65歳未満対象
① 所得割額	被保険者の平成28年中の基準総所得金額に対し	6.64%	2.62%	2.10%
② 均等割額	被保険者1人ごとに	26,600円	9,900円	10,200円
③ 平等割額	1世帯ごとに	A、B以外の世帯	7,600円	6,000円
		A 特定世帯	3,800円	
		B 特定継続世帯	5,700円	
①②③の合計額が1年間の国保税額となります。 ※ただし、右の賦課限度額を超えることはありません。		54万円	19万円	16万円

※「基準総所得金額」とは・・・平成28年中の総所得金額から33万円（基礎控除）を控除した金額をいいます。

※「特定世帯」とは・・・国保に加入していた方が後期高齢者医療制度に移られたことにより、被保険者が一人だけになった世帯。
介護納付金分を除く平等割額を最大5年間、2分の1に減額します。

※「特定継続世帯」とは・・・特定世帯に該当して5年経過後8年を超えない世帯。
介護納付金分を除く平等割額を最大3年間4分の3に減額します。

国保税の軽減等について（5割、2割軽減の対象を拡大します）

◆低所得者に対する軽減（申請は不要です）

前年の所得が一定基準以下の世帯の均等割額及び平等割額を7割、5割、2割軽減するものです。

＜7割軽減該当世帯＞ 世帯主及び国保加入者の前年中の合計所得金額が33万円以下の世帯

＜5割軽減該当世帯＞ 世帯主及び国保加入者の前年中の合計所得金額が33万円+27万円×（被保険者数+特定同一世帯所属者数）以下の世帯

＜2割軽減該当世帯＞ 世帯主及び国保加入者の前年中の合計所得金額が33万円+49万円×（被保険者数+特定同一世帯所属者数）以下の世帯

注）1. 軽減の判定は、世帯主及び国保加入者全員と特定同一世帯所属者の所得金額が対象となります。

2. 特定同一世帯所属者とは、後期高齢者医療制度に移行され、国保の資格を喪失した方です。

◆非自発的失業者に対する軽減（申請が必要です）

この制度は、勤務先の会社の都合により離職（倒産、解雇等の事業主の都合による離職）を余儀なくされた雇用保険の特定受給資格者、または特定理由離職者（特定理由による自己都合で離職された方）について、国保税の計算並びに高額療養費等の所得区分判定において、**給与所得を30/100に軽減して算定する**ものです（ただし、給与所得以外は100/100で算定）。適用条件に該当される方は、保険・医療課で申請してください。

【軽減措置適用条件】

- 国保加入者で、離職時点で65歳未満であること。
- 雇用保険受給資格者で、**離職理由コードがNo11、12、21、22、23、31、32、33、34**であること。
- 該当者の保険税額算定の基準となる年の給与所得があること。

【軽減期間】 離職日の翌日から翌年度末までの期間

【申請に必要なもの】 ① 雇用保険受給資格者証 ② 印鑑

※ 軽減が適用される場合は、申請月の翌月以降に税額の更正通知をお送りします。

◆後期高齢者医療制度への移行に伴う国保税の軽減（申請が必要です）

社会保険などの被保険者本人が、後期高齢者医療制度へ移行されたことにより、その被扶養者（65歳以上75歳未満）の方が国保に加入された場合（旧被扶養者という。）当分の間、減免が受けられます。該当される方は、保険・医療課で申請してください。

確定申告・住民税申告が必要です。

国保税額の算定、または税額の軽減適用や高額療養費等の給付額の決定については、世帯主及び国保加入者全ての方の所得情報が必要となりますので、収入の多少に関わらず必ず申告をしましょう。

◎その他、災害等に関する減免制度もありますので、お問い合わせください。

国保税の納税について

世帯主が納税義務者になります

◆普通徴収の納期

年税額を8回に分けて、納付していただきます。年度途中の加入の場合は、届出をした翌月以降の納期回数で納付していただくことになります。
1年分の税額を前納される場合は、全期分の納付書で一括納付してください。

国保に加入していない世帯主であっても、世帯に国保加入者がいる場合には、世帯主に国保税が課税されます。

◆国保税がコンビニエンスストアで納付できます。

(注) 期別の税額が同じでも、誤った納期の納付書で納付されますと、督促状が発送される場合がありますので、納期の誤りがないようご注意ください。なお、コンビニ利用期限を過ぎますと、コンビニエンスストアでの納付はできません。

* 平成29年度の納期限……納税は、納め忘れのない口座振替制度をお勧めします。

期別	月日	期別	月日	期別	月日	期別	月日
1期	7月31日	2期	8月31日	3期	10月2日	4期	10月31日
5期	11月30日	6期	12月25日	7期	翌年1月31日	8期	翌年2月28日

◆特別徴収の制度について (次の条件を満たす方が対象です。)

- ① 世帯主が国保加入者であること。
- ② 世帯の国保加入者全員が65歳以上75歳未満であること。
- ③ 1年間に受け取る年金額が18万円以上であること。
- ④ 介護保険料が特別徴収であること。
- ⑤ 国保税と介護保険料を合わせた額が年金額の1/2を超えていないこと。

特別徴収から普通徴収への切替手続

年金からの天引きで納付するのではなく、口座振替による納付を希望される場合は、「国保税納付方法変更申出書」を提出していただく必要があります。

年度途中の加入・脱退の場合

年度の途中で国保に加入された場合は、資格取得された月から月割りで計算します。また、年度の途中で脱退された時は、資格喪失された月の前月までの月割りで計算します。

- 途中加入の場合 / (年間国保税額 ÷ 12) × 資格取得した月から3月末までの月数
- 途中脱退の場合 / (年間国保税額 ÷ 12) × 4月から資格喪失月の前月までの月数

人間ドック受診費用の助成について

平成29年度から、国民健康保険被保険者を対象に、健康の保持増進及び疾病の早期発見・早期治療の推進を図るため、人間ドック受診費用の一部助成事業を実施しています。

対象者 以下のすべてを満たす方が対象です。

- ① 加東市国民健康保険に加入している方
- ② 住民税その他市の債権に係る徴収金を滞納していない方
- ③ 国民健康保険税を滞納していない世帯に属する方
- ④ 人間ドック受診日の属する年度内に加東市健康診査を受診していない方 (まちぐるみ総合健診及び個別健診での特定健康診査が該当)
- ⑤ 受診した健診結果を特定健診に係る事業に提供することを承諾する方
※ 健診結果につきましては、個人情報保護をうけて、特定健診に係る事業に利用させていただきます。

助成内容

■ **加東市民病院** で受診する場合 (受診費用 37,800円)

1日人間ドック

助成金額: 27,000円 (自己負担額 10,800円)

申請に必要なもの

- ・国民健康保険被保険者証
- ・認印
- ・届出者の本人確認書類

■ **加東市民病院以外** で受診する場合 (受診費用は各施設へお問い合わせください)

1日人間ドック

助成金額: 受診費用の1/2 (上限 18,000円)

1泊2日人間ドック

助成金額: 受診費用の1/2 (上限 30,000円)

申請に必要なもの

- ・国民健康保険被保険者証
- ・認印
- ・届出者の本人確認書類
- ・領収書
- ・受診者の口座がわかるもの
- ・健診結果表

【お問い合わせ先】 ※詳しくは、次の担当課までお問い合わせください。

- ① 国保の加入や脱退の手続き、人間ドック受診費用の助成に関すること・・・**保険・医療課**【電話: 43-0500 (直通)】
- ② 国保税に関すること・・・**税務課**【電話: 43-0397 (直通)】